**第１時「大きくなってきたわたし」（１/４）**

目標

◇体は年齢に伴って発育すること、発育の仕方には個人差があることを理解できるようにする。（知識）

◇身長の伸び方で悩んでいる友達にかける言葉について、学習内容を活かして考えて、話したり、書いたりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

◇身長の伸び方の個人差について進んで考え、発育の違いを肯定的にとらえようとする。（学びに向かう力、人間性等）

|  |  |
| --- | --- |
| 学習内容・活動 | ○指導上の留意点・◇評価 |
| 1. 自分がどのくらい大きくなってきたのかを実感する。
2. 学習の見通しをもつ。
 | ○実物の靴や出生時と同重量のお米、誕生日カード、手形や足形などを用意し、具体物を通して成長を実感できるようにする。○単元を通して、体をよりよく発育・発達させることについて学ぶことを捉えられるようにする。わたしたちの体は、どのように成長するのだろうか。 |
| ３　身長の伸びを示したグラフで自分の成長を実感する。４　グループで伸び方を比べて気づいたことを話し合う。 | わたしたちは、どれくらい成長してきただろうか。○身体計測のグラフデータをもとに、自分の身長を振り返ることができるようにする。○個人差について理解できるようにする。◇体は年齢に伴って発育すること、発育の仕方には個人差があることを理解できるようにする。（知識）○心配な場合は、信頼のできる大人に相談するように伝える。 |
| ５　悩んでいる友だちの映像を見てアドバイスを考え、発表する。事例）身長がもう少し伸びないと不便だなぁ。もう少し低くていい。 | なやんでいる人に、どんな言葉をかけたらよいだろうか。○事例を提示し、悩みに寄り添う言葉を考えられるようにする。○考えが進まない児童へ、これまで学んだことを想起できるように声掛けをする。○個人で記入した後、ペアや全体で共有する場面を設定する。◇身長の伸び方で悩んでいる友達にかける言葉について学習内容を活かして考えて話したり、書いたりしている。（思考・判断・表現） |
| ６　今日の学習のまとめをする。　　・学んだことやこれから活かしたいことを書く。　　・次時の見通しをもつ。 | ○次時の学習内容を知り、見通しをもてるようにする。○相談カードを用い、個別に相談してよいと分かるようにする。◇身長の伸び方の個人差について進んで考え、発育の違いを肯定的にとらえようとしている。（主体的に学習に取り組む態度） |

☆授業の最後に、「相談カード」を配布し、使い方を説明する。

「体の発育・発達」学習カード１　４年　　組　名前

|  |  |
| --- | --- |
| /　　 (　　) | 大きくなってきたわたし |

１　自分や友だちの身長ののび方をくらべて、気が付いたことを書きましょう。

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

２　なやんでいる友だちに、なぜ、「大丈夫！」と声をかけたのでしょうか？



大丈夫！

こんなになやんでいるのに、

なんでそんなこと言うの？

　なぜなら

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　だから。

３　今日の学習で分かったことやこれからの生活にいかしたいことを書きましょう。

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

おうちの人から

|  |
| --- |
|  |

評価の実際　『十分満足できる状況』及び『おおむね満足できる状況』



十分満足できる状況

＜記入例＞

・人には個人差があって、一番良い時期に一番良い量だけ発育するから大丈夫だよ。

◆友達の悩みについて知識（個人差について）を活用して具体的な理由を記入している。（思考・判断・表現）

おおむね満足できる状況

　＜記入例＞

・個人差だから大丈夫だよ。

・人それぞれだよ。

◆友達の悩みについて知識を活用して記入している。（思考・判断・表現）

十分満足できる状況

＜記入例＞

・個人差があるから、人と違っていいのだと思った。

・背が高いからよい、背が低いからよくないわけではなく、人それぞれでいいことが分かった。

◆身長の伸び方の個人差について肯定的に捉え、記入している。（主体的に学習に取り組む態度）

おおむね満足できる状況

　＜記入例＞

・一人一人身長の伸びが違うことが分かった。

◆身長の伸び方には違いがあることを認めることができている。（主体的に学習に取り組む態度）

評価の実際　『努力を要する状況』及び手立て



【手立てと言葉掛け】

〇学習内容を確認し、自分の生活と結びつけられるよう説明をする。

他の人と比べて身長の伸びが違うのが個人差だと分かったね。それを知ってどう思ったかな？

学習カードや黒板にはなんて書いてあるかな？



努力を要する状況

＜記入例＞

・（書けない）　　　　・面白かった。

気にする必要がないのはどうしてだったかな？

自分と友達の伸び方は同じだったかな？違うのはどうしてかな？

【手立てと言葉がけ】

〇本時の学習内容を確認する。



努力を要する状況

＜記入例＞

・（書けない）

・気にすることではないから。

評価の実際　授業中の『言葉掛け』例

みんな同じで大人になれば身長が伸びるのに、何が心配なの？





みんなが同じように身長が伸びるのですか？



身長が伸び始める時期は人それぞれ違う？



そうでしたね。伸びる時期だけだったかな？



身長が伸びる量？スピード？人によって違う・・？



そうです！悩んでいる友達にどんな言葉をかけてあげればよいか学習したことを思い出して考えてみましょう。



良い所に気がつきましたね。みんな悩むし、悩む原因も違いますね！

身長が高くても低くても悩むものなの？

悩みも人それぞれ違う・・？

人それぞれ違うことを何と言いましたか？

・・・・・個人差？









個人差があるということがわかっていれば安心しますね！

